

坂城町高校生タイ国研修会

長谷川 瑠陽愛

〇はじめに

私は坂城町高校生タイ国研修会に参加しました。以前から海外には興味があり、文化や食べ物は日本と何が違うのか、自分の肌で感じたいと思っていました。

タイのイメージとして、暑いとか、治安が悪いなどと思っていましたが、実際に行ってみたら、現地の方は優しく笑顔で対応してくれ、温かく接してくれました。日本語で「ありがとうございます。」というと、明るい顔で「ありがとう。」と、返してくれ、タイ語が言えなくても、ジェスチャーなどで話すことができ、とても楽しかったです。



そして、バンコク・アユタヤや、タイのスーパーマーケットなど、色々行ってきました。日本とは違う風景だったり、建物だったりまるで未知の世界に来たようでした。

○企業視察

【株式会社アルプスツール】

アルプスツールさんは、2015年にタイのナコンラチャシマにツーリング専用工場を開設し、2021年6月18日に設立しました。タイでの業務内容として、産業機械用各種工具・付属品、NC旋盤用バーフィードの製造・販売をしています。

見学していて、温度が23℃から25℃で設定してある部屋があり、働くにはとても過ごしやすい環境だと思いました。しかし、機械を扱っている場所はエアコンがあってもすごく暑かったです。

そして、タイの工場で働いている人は坂城町にある工場よりも人が少なく、手を使って作業する時の細かいところや、重い物を運ぶ時などは大変だなと思いました。ですが、タイの皆さんは日本よりも暑いのに、熱に負けないで黙々と作業をしていました。皆さん忙しいのに、すれ違う時に笑顔で挨拶してくれるなどと優しく接してくれて嬉しかったです。

最後に、アルプスツールさんで、タイ米を使ったデザートいただきました。ココナッツのシロップをかけてマンゴーなどと一緒に食べる、という初めてのデザートで、今までに食べたことのない味でした。モチモチで、甘くてとても美味しかったです。記念にノートとマグカップとお水もいただきました。帰国するときにマグカップが割れないか心配でしたが、無事に日本に持って帰ることができました。



【株式会社カヤマ】

カヤマさんは、1996年1月に会社設立し、1997年4月に操業開始しました。事業内容は、部品加工/自動車部品・建機部品・コンプレッサー部品、特殊工具/設計・制作・販売をしています。

タイでカヤマさんの工場に行ったとき、案内して下さった2人の方しか日本人がなくて、他の従業員はタイの方だけだそうです。機械に囲まれて作業していて、1つ1つの機械がとても重たそうでした。



カヤマさんでお昼をいただきました。本場のガパオライスは初めてで、すごく辛いのが印象的でした。米もタイ米というよりは日本米の食感で、スープは日本の味がして、とても心がホッとしました。

ガパオライスをタイで食べられて嬉しかったです。



【株式会社高松製作所】

高松製作所さんでは、自動車用エンジンブラケット、クラッチシリンダー、シャフト、ギア、ウォーターポンプ用ボディ、エレベーター用滑車、エアコンプレッサー用シャフト、農機具用ブラケット、プレート等を主に製品していました。自動車用、農機具、建設機械から電気部品まで幅広くビジネス展開しています。

製品を作っているところを見てみて、工場の建物がとても大きくて見上げるくらいでした。機械も大きいものがたくさんありました。

外に移動して、鉄を流し込む場所に行きました。熱々の鉄をすくい上げて入れる作業を人の手で行っており、ビックリしました。流し込んでいるところを見させてもらいましたが、熱気が肌にまで伝わってきて汗が滝のように出てきました。それを作業員さんがやっているの凄いなと思いました。



そして、お昼は社食をいただきました。ピリ辛の焼きそばやフルーツがあつて、どれも美味しくて、タイのフルーツってこんなに美味しい物なのかと思うくらい甘くて美味しかったです。また食べられたらいいなと思いました。



○在タイ日本国大使館視察

大使館に入るときに、建物の壁が高いと感じました。中に入ると、とてもセキュリティーが高くて簡単には侵入出来ないと思いました。

場所によっては一般の方も入れる所があり、パスポートや住民票などを取り扱っていました。実際に来ている方がおり、日本語を話して担当していた方も日本語で案内していたので、安心して受付できることなどがとてもいいなと思いました。

案内説明書やポスターなども日本語で書いてあり、まるで日本の市役所にいるみたいでした。

お話を聞いて、タイのイベントや文字の意味、タイについての事を色々聞かせていただきました。私自身、タイで知らないことがたくさんあって、スライドでの説明を聞く中で、こんなことをタイではやっているんだと思いました。

タイの季節の話があり、乾季は11月～3月で暑季が4月～5月、雨季では6月～10月に分かれていて、雨季の写真を見たところ洪水しているようでした。私たちが行ったときは、乾季で少し過ごしやすかったです。

お話の途中で、将来どんなことをしたいかの話題になりました。私は、大使館での話を聞いて、もっとタイについても知りたいし世界中のことも知りたいと思いました。これから、進学・就職で悩む時期がきますが、ここでの話を忘れずに、将来世界に携わることが出来たらいいなと思います。



〇おわりに

私は、初めての飛行機と海外でワクワクしていて、動画や写真でしか見たことのない景色を、この研修を通じて自分の目で見ることができました。

そして、高校生という立場でとてもいい経験をさせていただいて、本当に感謝しかないです。日本では出来ないこともたくさんできて、楽しかったです。

タイのスーパーで買い物をした時に、レジをしてくださった店員さんがとても優しい対応してくれて、帰り際に「バイバイ」と手を降ってくれて嬉しかったです。コンビニでも、お金の出し方が分からなくて困っていたら、助けてくれました。タイの人達は本当におもてなしをしてくれたので、楽しい研修になりました。

タイで過ごしていて、色々な建物に入って気づいたことがありました。「土地の神様」と呼ばれるものでした。そんな土地神が家を守り、住人に幸せを運び、危険を回避して幸運が訪れると信じているといいます。色々な種類があって、場所によっては形が違ったり、カラフルな神様があったりしました。実物を見られて良かったです。

バスで移動しているときに、アヒルの大群を見ました。日本ではあまり見られない出来事だったので、興奮してしまいました。私はアヒルが大好きなので、たくさんのアヒルを見られて嬉しかったです。

また、この研修を活かして、これから世界に関われる仕事が出来たらいいなと思いました。

